

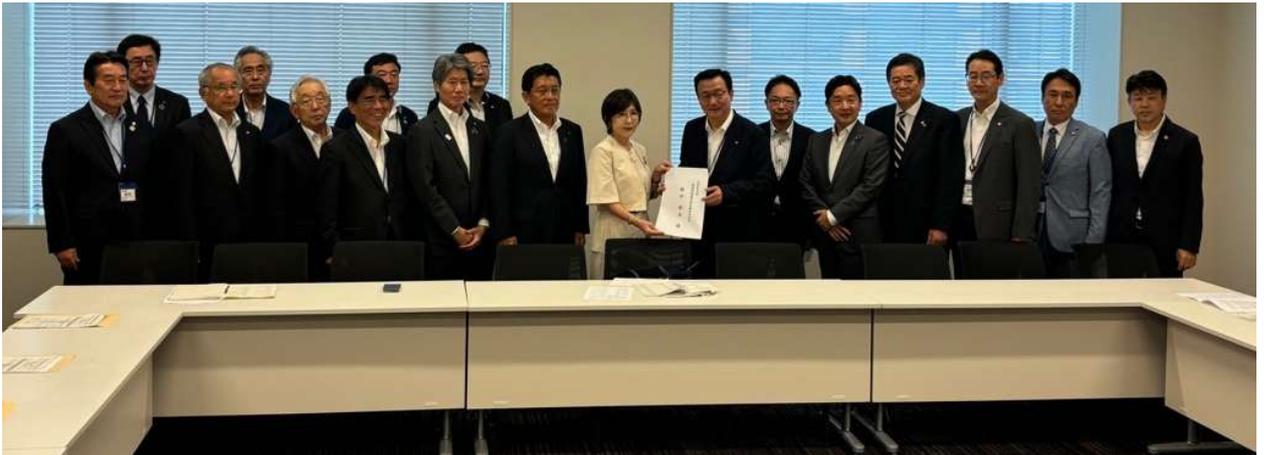
令和7年8月21日（木）

・13:00～ 衆議院第2議員会館内会議室

自由民主党 整備新幹線等鉄道調査会会長 稲田 朋美 様、衆議院議員 平井 卓也 様、衆議院議員 大野 敬太郎 様、衆議院議員 瀬戸 隆一 様、参議院議員 磯崎 仁彦 様に要望書を手渡しました。

稲田整備新幹線等鉄道調査会会長からは、「四国の新幹線導入に向けて、県内全ての自治体と同じ方向に向かって進んでいるということが素晴らしい。現在は、整備計画路線が終了した後に、基本計画路線の法定調査を行うという順番になっているが、それらを並行して実施できるよう各方面に働きかけてまいりたい。」との御回答をいただきました。

また、各議員からは、「新幹線は、快適性や安全性において他と比較しても優れた交通手段と認識している。また、地域を線で結ぶ新幹線は、交通需要を面で支えるため、交流人口や関係人口の拡大に与える影響も大きいことから、人口減少にある中、日本全体の発展に寄与するものと考えている。期成会が県内全ての基礎自治体で組織されているということは、大変意義のあるものだ」と認識しているので、今後も熱意をどんどんアピールしていただくとともに、我々としても、四国への新幹線導入に向けて、関係省庁に働きかけてまいりたい。」との御回答をいただきました。



・13:35～ 会長及び副会長による取材対応

会長 高松市長 大西 秀人、副会長 観音寺市長 佐伯 明浩、副会長 宇多津町長 谷川 俊博による、マスコミ取材対応を行いました。

・15：15～ 国土交通省内大臣政務官室

国土交通大臣政務官 国定 勇人 様に要望書を手渡しました。

国定政務官からは、「四国の新幹線導入が強く望まれていると認識している。また、瀬戸大橋や四国側の一部で新幹線用地が確保されているのも大きいと考えている。」との御回答をいただきました。

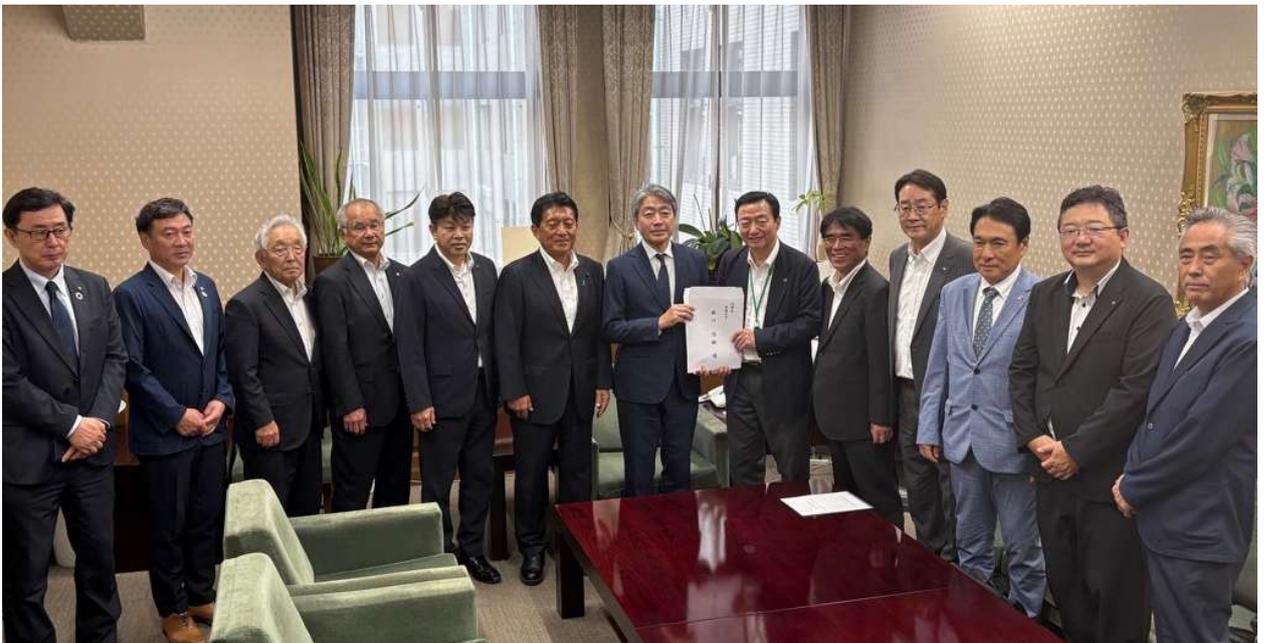


・16：00～ 財務省内事務次官室

1

財務省 事務次官 新川 浩嗣 様に要望書を手渡しました。

新川事務次官からは、「予算に限りはあるものの、日本の発展のために必要なものに取り組んでいくべきと考えている。四国の新幹線導入に向けて、皆様の大変熱い思いを受け取った。」との御回答をいただきました。



【総括】

本期成会は、四国の新幹線導入によって、「交流圏や交流人口の拡大による経済発展や観光振興が見込まれること」、また、「住民や企業に期待感、ワクワク感が与えられ、夢や希望を持ったまちづくりにつながること」をお伝えし、早期に四国の新幹線が整備計画へ格上げされるよう要望いたしました。

また、本期成会が、県内の全ての市長及び町長で構成され、地元が連帯していること、瀬戸大橋を含めて新幹線ルートの一部が既に確保されていることをお伝えすることにより、四国の新幹線導入に向けた熱意と姿勢をしっかりと示すことができたものと認識しており、要望を受けていただいた皆様からも評価をいただいたと考えております。

同時に、四国への新幹線導入に向けては、更なる機運の醸成が必要であり、そのために、本期成会を中心に、地元自治体が一丸となって、様々な取組を行っていく必要があることを再認識いたしました。

会員の皆様方には、引き続き、本期成会の取組に、御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。